

谷根千の都市空間を読み解く – M1、都市構想力を磨いた2ヵ月–

Fieldwork in YANESEN!

–M1 members improved their analysing ability–

M1 全員で4月から2ヵ月間準備を進め、ついに本番を迎えた谷中・根津・千駄木のまちあるき。3年生の講義のほか、海外からの先生方もご案内させていただきました。その2日間の模様をお伝えします!

The fieldwork in Yanesen: Ya(Yanaka)Ne(Nezu) Sen(Sendagi) prepared by M1 members was held. Happily, there were two opportunities to introduce YANESEN.

6.14



6月14日(月)に3年生の講義「都市工学の技術と倫理」でM1がTAとなり、谷根千のまちあるきを行いました。「谷根千の都市空間を読み解く」というテーマのもと、フィールド調査や地図・文献調査から都市を分析し、3年生に伝わるようビジュアルに表現したまちあるき資料をまとめました。

当日はあいにくの雨でしたが、40名を超える学生が参加し、4チームに分かれて谷中、根津、千駄木を歩きました。M1が解説するだけでなく、3年生からも積極的に質問があがり、都市空間の面白さを伝えることができたと思います。またM1にとっても、身近なまちを都市空間として読み解くことで、谷根千の歴史の重層性を改めて感じる事が出来ました。



▲諏訪神社にて、M1山重の解説を熱心に聞く3年生

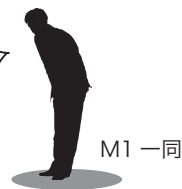
6.20



▲中国の先生方を案内する西村先生

6月20日(日)にGCOEの国際シンポジウムで来日された韓国・中国の先生方と、西村先生、留学生の皆さんと谷根千まちあるきを行いました。今回はゴールを千駄木に設定した約二時間半のコースで、3年生の授業の時とは違って変わり、天候にも恵まれ、楽しくまちあるきを行う事が出来ました。また、研究室の留学生の皆さんのご活躍で中国語・韓国語・英語を交えた解説もあり、国際色豊かなひと時でした。

4月から始まったチーム谷根千の活動もこれで一段落でしょうか。
M1一同を取りまとめて下さった永瀬先生、ご指導ありがとうございました!
助教就任、おめでとうございます!!



M1一同

新たな個性に、研究室湧く!

Welcome party for new comers!

毎年恒例の卒論生歓迎会。今年は正門から歩いてすぐ、おなじみの「明憩」にて開かれました。



▲阿部先生によるスペイン式乾杯



▲話に花咲く和やかな時間

6月25日(金)に本郷の「明憩」にて4年生歓迎会を行いました。最初は少し緊張した面持ちの新メンバーでしたが、各自個性あふれる自己紹介をしてくれ、会は一気に盛り上がりました。フランクな話から研究内容や都市の話まで会話は尽きることなく、2時間という少し短い時間でしたが、楽しいひと時になったのではないかと思います。新しいメンバーを加えて研究室も増々賑やかになり、これから一緒に活動していくのがとても楽しみです。

M1 西村 裕美

留学生コーナー第7弾！

An essay by international student vol.7!

多国籍な都市デザイン研の特徴を活かし、長年住んでいると気づかない日本の都市の姿を留学生の新鮮な目で伝えます。今号は中国出身の M1 李峰浩さんです。

Waterfront of Romance -Odaiba,Tokyo-

M1 Lee Bong-Ho

Tokyo has a lot of splendid waterfronts that are surrounded by abundant nature. Odaiba is one of them full of nature, and also, romance for me.

If you are walking along the beach of Odaiba Waterfront Park, you may hear the seagull all around you; you can smell the wind blowing from the sea; or maybe you can feel the water and the sand with bare feet without being aware of that such an accessible seashore is rare in Tokyo. I like the night of Odaiba for its atmosphere of peace and maturity, I like the light that is not so dazzle but harmonious.

In Shanghai, you can also find splendid waterfront with beautiful night view such as the bund of Huangpu River. When you are walking along the bank of Waitan Park, you can feel the atmosphere full of youth and vigor rather than maturity which can be felt in Odaiba. Maybe, these differences can present the characters of the two metropolises best: Shanghai for its vitality and Tokyo for its maturity.



▲ Odaiba at night, Tokyo



▲ The bund at night, Shanghai

プロジェクト報告



佐原 SAWARA-project プロジェクト

回遊性向上のための社会実験を行った佐原プロジェクトからの報告です！

text_muramoto



▲板塀ギャラリー製作中



▲下新町への誘導マップ

下新町サイン実験は佐原PJのメインテーマである回遊性向上計画の一環として、既存の観光行動の中心である小野川沿いから歴史的な町並みの残る下新町界隈へ、地図や説明看板、板塀ギャラリーなどにより人の流れを作り出そうという実験です。

そのスタートとなる今回はあいにくの雨模様、下新町への行く手を阻むように置かれた交通整理のコーンなどにより残念ながら思ったような結果は得られませんでした。

しかし、今回得られた改善点や手応えをもとに、サイン情報の改良やさらなる調査、ヒアリングにより、地元の方々も巻き込んで下新町を佐原の新たな人の流れを生み出すような空間とするべく、サイン実験班は目下奮闘中です！

国際設計 WS in 台湾

International Studio in Taipei

都市工学・建築学・社会基盤学の三専攻の学生が参加した国際設計 WS にて、M1 三名が奮闘！

text_yasukawa



▲中間プレゼンをする M1 安川



▲夜、台湾の居酒屋にて！東大メンバー

6月15日から21日まで、阿部先生・M1 前川・村本・安川で台北科学技術大学でのワークショップに参加しました。予想を上回る蒸し暑さ、キャンパス内のエコ&アートな雰囲気は驚きつつ WS はスタート。台北南港地区の工場跡地再生をテーマに、プレゼンに向けて案を練る日々。異なる国・専攻の学生との議論は、発見の連続でとても有意義でした。

また1週間という短期集中の日程にも関わらず濃い交流が生まれ、たくさんの仲間が出来ました。温かく歓迎して下さった NTUT の先生方、学生の皆様に感謝申し上げます。

現在も、東大チームで改めて1案提出しようと活動は継続中。8月は中間、10月には最終報告会が予定されているので、台北の学生との再会を楽しみにしつつ良い提案が出来るよう今後も頑張ります！

笠 真希氏 レクチャー
「オランダの都市デザイン」

日時：7月15日(木) 10:00~12:00

場所：工学部5号館57番講義室

内容：デルフト工科大学の笠氏を講師としてお迎えし、オランダの水辺開発プロジェクトを中心にレクチャーをしていただきます。

7月の予定

- 7月10~12日 鞆PJ現地調査
- 7月11日 佐原PJ回遊性向上実験@下新町
- 7月12~19日 JENESYS@京都・高山・白川郷・八尾・金沢
- 7月17日 鞆PJ現地ワークショップ
- 7月21日 2010年度第7回研究室会議

Information

* 編集後記

前川 綾音

今年から編集部に加わりました、M1 前川です。よろしくお祈りします。4月の入学以来、足助に行き、浅草の地元の方々との活動に参加し、谷根千について考え、台湾に行き・・・としているうちに、気づけばあっという間に夏学期の終盤になってしまいました。もうすぐW杯も終わり、夏がやってきますが、プロジェクト活動にコンペにと盛りだくさんでアツい夏になりそうです。息切れしないように頑張り、充実した夏にしたいです！